2026 年 10 月 19 日（月）公開

宮脇研究室への配属希望者へ

宮脇研では II 類 M エリア所属の学生に加え、I 類 J 系所属の学生も公式に配属可能です。**宮脇研への配属を希望する学生は、下記のような面接課題に取り組む必要があるということを予め理解しておいてください。また必要に応じて、事前に準備しておくことも推奨します。第２希望以下の方については、第１希望の結果が出たあとで同様に面接をします。第１希望の配属結果公開から第２希望配属決定までは日程がタイトなことが多いのでご注意ください（不明な点は事前にお問い合わせください）。**具体的にいつ面談をするかは、配属希望登録が締め切られたあとに、志望者の予定を調整しながら決定します。

注：配属結果は上記の面接を元に決定しますが、これとは別に、**研究室での研究内容や研究室自体に対する質問や相談は随時受け付けます**ので、下記連絡先までご連絡ください。

１　面接内容

１）**宮脇が過去に執筆した論文**のうちどれか**ひとつを選び**、その論文を**自ら入手**し、その**論文の内容について要約したうえで、論理的に批判する**。論文の内容とその批判は**プレゼンテーションの形で発表**する。発表時間は**１０分程度**とする。

- 論文は、宮脇研究室のホームページや google scholar などを参照し、その中からひとつ選ぶこと。
- おすすめ論文は、

[1] Miyawaki et al., “Visual image reconstruction from human brain activity using a combination of multiscale local image decoders,” Neuron, vol.60, pp. 915-29 (2008).

[2] Horikawa et al., “Neural decoding of visual imagery during sleep,” Science, vol.340, pp. 639-42 (2013).

[3] Sato et al., “Information spreading by a combination of MEG source estimation and multivariate pattern classification,” PLoS ONE, vol.13, e0198806 (2018).

[4] Umezawa et al., “Bodily ownership of an independent supernumerary limb: an exploratory study,” Scientific Reports, vol. 12, 2339 (2022).

[5] Akamatsu et al., “Spatiotemporal bias of the human gaze toward hierarchical visual features during natural scene viewing,” Scientific Reports, vol. 13, 8104 (2023).

[6] Miyazaki et al., “Suppression of information spreading in MEG source estimation using a functionally-structured Bayesian approach, ” NeuroImage, https://doi.org/10.1016/j.neuroimage.2026.121934 (2026).

[7] Miyazaki et al., “Block-structured Bayesian source estimation model for magnetoencephalography signals, ” bioRxiv, https://doi.org/10.1101/2025.05.30.656951 (2025).

[8] Miyawaki et al., “Rapid decoding of neural information representation from ultra-fast functional magnetic resonance imaging signals,” bioRxiv, https://doi.org/10.1101/2025.07.21.665938 (2025).

など（電通大の学生であれば上記はいずれも無料で閲覧可能；閲覧出来ない場合などは、研究室に相談のこと）。その他の論文でももちろんよい。

- ノート PC とパワーポイントなどを活用して発表すること。発表には**必ず論理的批判を含める**こと。**遠慮無用**。**痛烈な批判を期待**する。

【重要な注意】本課題に取り組むうえで、質問や分からない点があれば、**研究室の先輩に積極的に連絡をとり、質問をたくさんし、不明な点を解消したり、あるいは発表の仕方についてアドバイスを受けたりすることを非常に強く薦める**。困難な課題にどのように取り組んだかも重要な評価対象となる。ありとあらゆる手を尽くして（不正はダメだけど）、課題に取り組むこと。

２）当研究室の志望動機、興味のある研究内容、将来の進路の予定などについて述べる。

２　面接日時・場所

面接可能候補日時は配属希望者に追って連絡する。面接時間は、ひとりあたり１時間強程度を予定。面接は対面で行う。場所は追って連絡する。研究室への連絡は下記参照。

４　連絡先

面接課題に関する質問 members@cns.mi.uec.ac.jp
面接日時の希望連絡、その他研究内容や研究室自体に対する質問 yoichi.miyawaki@uec.ac.jp

以上